

説教ドリル、10/25/09

そこで彼らは、断食と祈りをして、ふたりの上に手を置いてから、送り出した。ふたりは聖霊に遣わされて、セルキヤに下り、そこから舟でキプロスに渡った。(使徒 13:3-4)



みことば: 使徒 5 : 1-16 (参考、1サムエル 10-16)

テーマ: 聖霊に遣わされて No.10

このドリルでは、聖霊の働きのために必要な条件について学んでいきます。

みことばの観察:

- 1) アナニヤとサツピラの事件で、ペテロは彼らが、「**地所の代金の一部を自分のために残しておいた**」ということ以外に、どうしたと言っていますか(例: サタンに心を奪われた)。また、この事件の結果、何が教会の中に起きたと言っていますか。
- 2) 12節の「**しるしと不思議**」という言葉に注目してみましょう。使徒の働きの中で、5章までの所で、このペアーの言葉が使われている箇所を探し出して下さい。全部で何回使われていますか。その表現の使われている近辺を見て、何か共通した点を見つけることはできますか。つまり、「しるしと不思議」が起きるためにどんなことが条件として必要なのか、また、どんな目的で神様がそれらをお与えになるのでしょうか。
- 3) サウル王が、1サムエル 10章で油注がれて王とされましたが、16:14以下では、悪霊に苦しむような結果になってしまったのは、何が原因であったのか、探して下さい。その間に何が起きたのか、またこの後、ダビデとの関係において彼はどうなっていったのかも、簡単に説明して下さい。

個人的適用

- 1) 今日の教会において、使徒の働きに描写されているような「**しるしや不思議**」、また聖霊の働きを見るのが少ないのは、どういった理由なのか、上の話しから説明してみてください。今日の私たちに足りないものは何でしょうか。
- 2) サウル王の話しから、一度、すばらしい聖霊の体験をしても、それが続かなかったり、中には悪くなってしまうという例も多々あります。何が原因なのか、あなたのことばで説明して見て下さい。またそれを防止するために、あるいは聖霊に満たされ続けるためにどうしたらいいのでしょうか。
- 3) 神様に対する「**恐れ**」というのは、どういうものなのでしょうか。アナニヤとサツピラの話しから、またサウル王の失敗の話しから、あなたがこれから気をつけたいと思うことがあれば、シェアして下さい。

祈り

- 1) あなたには神様に対する恐れはどこまであるのでしょうか。それが大切と思う人は、もっと持つことができるように祈って下さい。
- 2) あなたの家庭、グループ、また教会の中に、神様に対する恐れがもっと出てくるように。
- 3) 最近の新来会者、また、あなたが10月の終わりまでに、教会に導きたいと願っている人たちのために祈って下さい。名前をあげて祈ること、その報告もして下さい。

注意: これからは、祈りの部分の報告は、Flag of Joy の Prayers というページに、みことばの観察と適用の報告とは別に、記入して下さい。